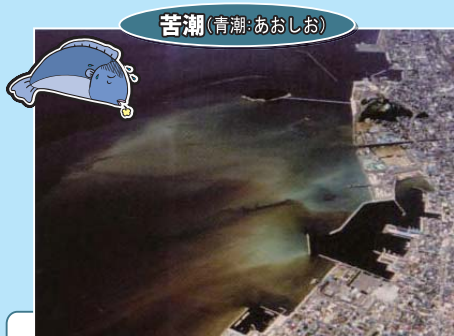
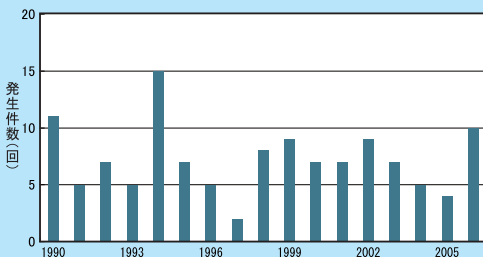




苦潮（くしお）は、海底付近に堆積したプランクトンの死骸（有機物等）の分解に酸素が消費されて酸素が乏しくなった海水（貧酸素水塊）が、水面近くに上昇し、青白くみえる現象です。
発生状況によっては、魚や貝などに被害を及ぼすことがあります。

伊勢湾・三河湾の苦潮発生件数



出展：愛知県水産課資料、三重県水産物供給チーム資料 以上のデータを基に作成

「伊勢湾再生行動計画」とは

伊勢湾再生の目標

伊勢湾の環境基準の達成を目指し、多様な生物が生息・生育する、人々が海と楽しく安全にふれあえる、美しく健全で活力ある伊勢湾の再生



基本方針



伊勢湾再生に向けた取り組み

伊勢湾流域に住む私達の社会経済活動により出される物質（窒素、リン等）は、河川水や地下水を通じて伊勢湾に流れ込み、伊勢湾の環境を悪化させています。このため、昔の豊かな伊勢湾を再生するには、伊勢湾流域で生活する一人一人が、**森・川・海**と連携し、取り組むことが重要と考えます。

制作：伊勢湾再生推進会議
発行：国土交通省中部地方整備局
問合せ先：企画部 広域計画課
TEL: 052-953-8129



汚水処理の現状 伊勢湾再生に向けて

人と森・川・海の連携により健全で活力ある伊勢湾を再生し、次世代に継承する
（伊勢湾再生行動計画のスロリガシ）

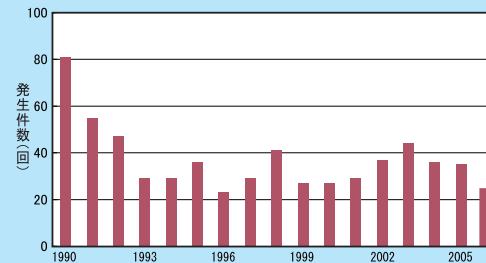


赤潮



赤潮（あかしお）は、窒素やリンの増加に伴う水域の富栄養化等の要因により、植物プランクトンが異常に増殖し、海水が赤褐色や茶褐色等にみえる現象です。
発生状況によっては、魚や貝などに被害を及ぼすことがあります。

伊勢湾・三河湾の赤潮発生件数



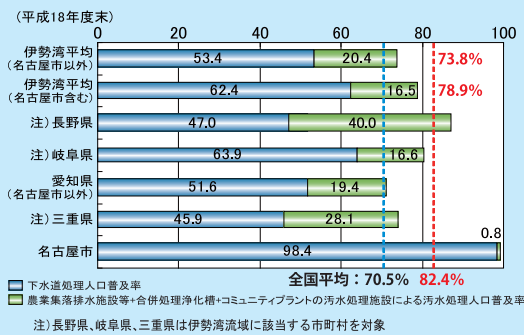
出展：愛知県水産課資料、三重県水産物供給チーム資料 以上のデータを基に作成

伊勢湾流域の汚水処理の現状



汚水処理人口普及率 (%)

伊勢湾流域の全人口に占める汚水処理施設利用者の割合



下水道処理人口普及率 (%)

$$= \frac{\text{下水道処理人口}^{\ast 1}}{\text{行政人口}^{\ast 2}} \times 100$$

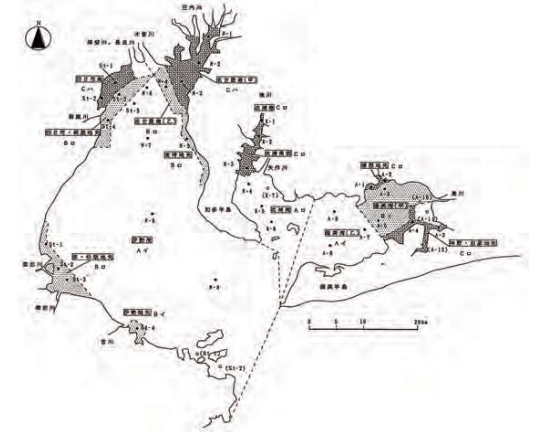
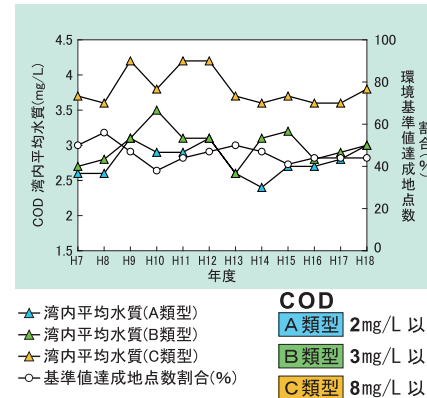
汚水処理人口普及率 (%)

$$= \frac{\text{下水道処理人口}^{\ast 1} + \text{その他の汚水処理人口}}{\text{行政人口}^{\ast 2}} \times 100$$

※1: 下水道処理人口: 下水道に接続可能な人口
 ※2: 伊勢湾流域内の人口

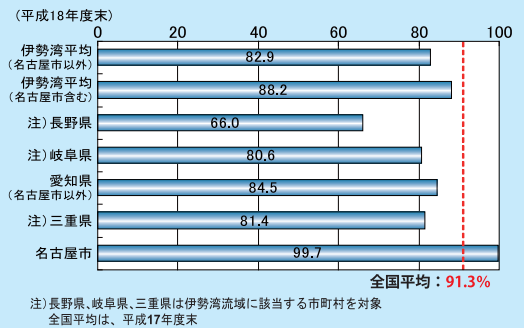
伊勢湾の環境基準 (COD)

湾内平均水質、環境基準値達成地点数割合の推移と水域ごとの指定類型



下水道の接続率 (%)

下水道に接続可能な区域内で下水道に接続している割合



$$\text{接続率}(\%) = \frac{\text{水洗便所設置済み人口}}{\text{処理区域人口}} \times 100$$

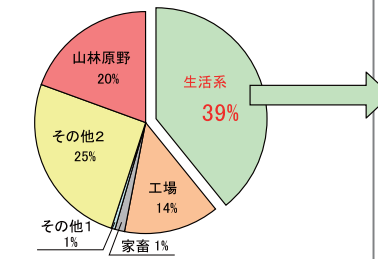
(下水道法によらない事業やし尿浄化槽による水洗便所を除きます)

伊勢湾流域の下水道接続率

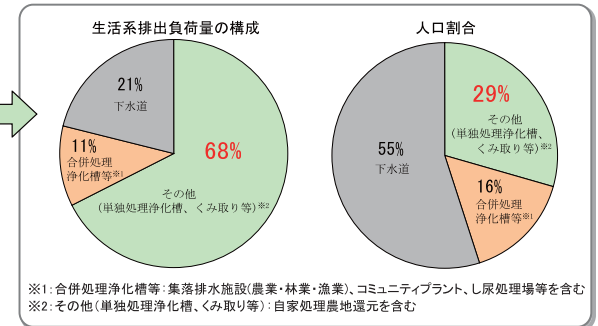
- ・ 83% : 伊勢湾平均 (名古屋市以外)
- ・ 88% : 伊勢湾平均 (名古屋市含む)
- ・ 名古屋市を除くと 2 割が未接続

現況負荷流出割合 (COD)

平成16年度の現況負荷流出割合

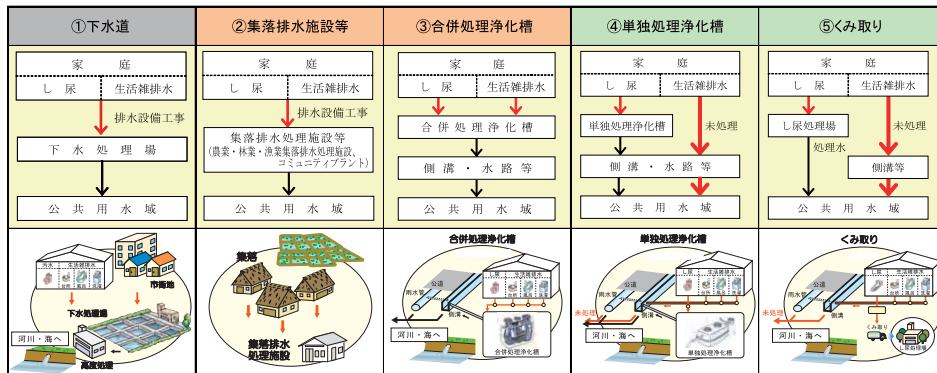


その他1: 廃棄物最終処分地、養殖系
 その他2: 田、畑、市街地等、合流式下水道雨天未処理放流負荷



汚水処理方法

集合処理(①、②)と個別処理(③、④、⑤)

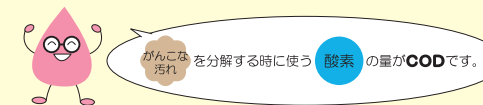


用語説明: COD

伊勢湾の水質保全において、望ましい基準(環境基準)が設定され、その対象がCOD、窒素、リンです。CODは、水の汚れの目安であり、この水の汚れを「過マンガン酸カリウム」で化学的に分解するときに消費される酸素量を mg/L で表したもので、汚濁が進んでいるほどCOD値は高くなります。

COD

2mg/L以下(A類型): マダイ、ブリ、ワカメ及びボラ、ノリ等の水産生物用
 3mg/L以下(B類型): ボラ、ノリ等の水産生物用
 8mg/L以下(C類型): 日常生活で不快感を感じない程度



COD(化学的酸素要求量): Chemical oxygen demand

